

## 歩こう会

～滝尾碓山から大分大学旦野原キャンパスへ～

### 碓山

11月6日（金）9:30にJR滝尾駅に21名が集合。幹事代表の渡邊新十郎さん挨拶の後、最初の目的地、すぐ近くの碓山に登りました。麓の説明板に、標高56mの大分県で最も低い山であると書いてありました。かつては島でした。山の名は、神武東征の折に碓を降ろしたとの言



い伝えによります。

途中、松平忠直公とのゆかりを記した石碑や真田栗毛墓、大東亜戦争従軍記念碑等を見ながら登っていくと、頂上近くには熊野神社がありました。山頂からは由布岳、鶴見岳を背景にし

た大分市街地の展望が開けています。木山広喜さん(大10)のハーモニカで唱歌を合唱する一幕もあり、1時間弱で下山しました。集合写真の横断幕はいつものように木山さんが書いてくださいました。木山さんが参加される親睦会は味わい深いものになります。

### 滝尾～旦野原

滝尾から旦野原まで4.5kmが今回のメインコースです。住宅地の中を通り、大分工業高校の西側の旧国道を経て、JR敷戸駅の手前で国道10号に出ました。10号を約1.5km進むと



大学入り口です。平地を歩くのは意外に疲れます。

ようやくたどり着いた大分大学旦野原キャンパス入り口はきれいに整備されていて、思わずカメラに手がいきます。学生が行き来する緩い上り坂を歩いて経済学部棟前に着き、JRで先回りしていた3名の会員と合流したのは11:40でした。

## 旦野原キャンパス

経済学部では、思いがけず高見博之経済学部長と吉野勉事務長が出迎えてくださり、お二人の案内により、100周年記念事業で整備された黒土記念講堂を見学しました。総務係の福丸さんも対応してくれました。



屋外に出て、90周年記念公園の前で集合写真。ここには、上野丘校舎跡地に残る門柱のレプリカ及び100周年記念碑の設置が予定されています。記念碑には木山広喜さんが揮毫されます。人工芝で整備された100周年記念公園を見て学生食堂へ。途中、図書館や教育学部棟など、広いキャンパスに広がる建物群を目にしなが



ら、上野丘校舎時代に比べて今の学生は恵まれている、羨ましいとの声が聞かれました。参加者の多くにとって、初めて足を踏み入れるキャンパスです。

食堂では、学生に混じって

各自好みの料理を取り、歩いた後の空腹を満たしました。食後は、自由解散。13時前



に本日の歩こう会は終了しました。大学構内にバス停のある大分バスに乗る人、大分大学前駅からJRで帰る人と分かれました。

新形コロナ感染予防のため貸切バスを使わなくなって4回目の歩こう会でした。前は別府駅集合で別府の桜めぐり、その前は大分駅集合で大友氏の歴史散策、その前は鶴崎駅集合で肥後藩領時代の鶴崎を偲びました。それぞれ、大分支部会員にとって近場ながら、未だ知らなかったことに知見を深めました。「無知の知」です（学生時代に哲学で学びました）。コロナ禍で多様な歩こう会の在り方を経験したことにもなります。

楽しい会になったのは、毎回、事前に下見をし、参加者を安全にリードしていただく3名の幹事、渡邊新十郎さん（大16）、丸井弘美さん（大16）、松井一博さん（大18）のお陰です。ありがとうございました。